

新型コロナウイルス抗体検査説明書

当院では、成人を対象として過去に新型コロナウイルスに感染したことがあるかどうかを判定する抗体検査を実施しています。この検査は血液を指先から少量採取してその中のIgG抗体の有無を調べて判定する検査です。当院では過去2週間に渡って同ウイルスへの感染を疑う症状がない人に限定して、過去の感染の有無を調べることを目的としているため、現在の感染の有無の判定はできません。そのため現在の感染の可能性のある方は、検査対象から除かせて頂いておりますので予めご了承願います。

この抗体検査の結果が陽性の場合、過去に同ウイルスに感染したことがあることを示すものです。この場合、一般的に以下のようなことが期待されます。

- ①同ウイルスに対する免疫があり、感染者と接触しても感染しない、または、発症しても軽症で終わる可能性がある。
- ②本人から他人に飛沫感染させることはない、または、その可能性が低い。

(但し、他の感染者からのウイルスを接触等で媒介して感染させる可能性(接触感染)はあり得ますので、手指消毒等の感染予防は引き続き必要です。

この検査結果が陽性である(抗体がある)ことをもって、たとえば、海外渡航等において制限を受けない等の、公的な証明になることは、一般的にはありません。

また、通常このような抗体は生涯に渡って維持されるもの(終生免疫)ではないと考えられるため、一定程度の時期の後に再度感染する可能性は否定できません。

一方、検査結果が陰性であった場合は、同ウイルスに対する免疫が無いと考えられるため感染する可能性があります。

以上は、免疫学の一般的な考え方に基づいた判断ですが、同ウイルスに固有の性質については、まだ不明な点もあり、また、遺伝子変異を起こしやすいウイルスで

あり、さらには、新型ではないコロナウイルスへの過去の感染による抗体を検出する可能性（交差反応）なども指摘されていることから、以上のような判断が必ずしも正しいとは言えない場合があります。

検査の結果自体についても **100%正しい訳ではなく**、現在国内で利用可能な抗体検査の精度については、確立されたものではなく、**一定程度偽陰性や偽陽性が生じており、検査結果は参考としてお考えください**。また、検査自体が有効な判断に至らない場合（判定不能）が稀に生じます。この場合は、もし、再検査を希望される場合は、1回のみ、その日に無料で再検査致します（再検査するかどうかは、ご本人の希望によります）。但し、再検査しても「判定不能」となることがありますので予めご了承願います。

医師が陽性か、陰性かに判断した場合は、再検査は行いません。

当院では感染の急性期（初期）であることを検出する **IgM** 抗体の検査は行っておりません（**IgM** が陽性の場合、**PCR** 検査等の確定診断が必要であり、確定診断で陽性と判定された場合は、法律および政令に基づいて隔離の対象となります）。なお、**IgG** 抗体も感染の中期以降に陽性になることがあります。新型コロナウイルスの場合、感染力は発症直前である潜伏後期にピークがあり、この **IgG** 抗体が陽性となる時期では、感染性が低いと考えられるため、この陽性結果をもって **PCR** 検査などを行う必要はありません。

特に当院では、検査の **2週間前**より発熱や風邪症状、全身倦怠感など、新型コロナウイルスを疑う症状がない人で、**渡航歴や感染者との濃厚接触歴が無い人**に限って検査を実施しているため、**PCR** 検査施設等への紹介などは原則として行いません。

医療法人社団新未来 理事長 齋藤 勇

- ・こどもみらい大島クリニック
- ・晴海トリトン夢未来クリニック